

救援物資を被災地へ（能登町）

現場確認と同時に被災地（能登町）に大山会長と内田委員長（災害対策委員会）が訪問。事前に施設から施設運営において、必要な救援物資（アルコール消毒用、マスク、ボディタオル、ガウン、足カバー、ニトリル手袋、パルスオキシメーター）を確認し、施設へ届け被災状況の確認と意見交換を実施。



主な行程

1 / 29 (月)

富山県前泊。
救援物資含む
レンタカー等の
確認。交通状
況の最終確認。

1 / 30 (火)

被災地へ出発。
救援物資を積
んで被災地へ。
交通規制等で
迂回等あり。

1 / 31 (水)

石川県老協協
訪問及び意見
交換の実施。
災害対策委員
会への出席。

利用者の命を守ることが精一杯の状況だった。

1月1日はお正月なので利用者は少なかったが、111名の方が被災した。地震発生直後は、上層階が壊滅的な状況のため、利用者を全員1階に避難させた。電気は止まっていたので、エレベーターは使えず、職員総出でおんぶ等しながら無我夢中で全員1階に避難した。

職員も被災している状況の中、全員1階で雑魚寝状態で過ごす日々が続く中、1名の職員が自宅で被災し、亡くなり今現在も29名の職員は出勤できない状況が続いており、今後も利用者のケアや職員の負担など不安な状況が続く。

電話等の通信手段も途絶えてしまい、孤立状態が続くなか、手探りで職員の安否確認などを懸命に行った。通信手段が途絶えると連絡が取れなく、困難な状況が続いた。



紙谷理事長



瀬戸事務長



意見交換

施設名

特別養護老人ホームこすもす

所在地

石川県鳳珠郡能登町字五郎左工門分藤17番地

施設状況

職員も被災しており、当面は施設で対応など多数。

災害に関して想定していたが、
「まさか」という事態。
決して他人事ではないということ
を改めて考えて欲しい。



1月31日（火） 9時00分

石川県老施協
協議

昨日、被災地へ訪問した内容の情報共有他、石川県の情報や全国老施協DWAT派遣など今後の支援体制について協議。

長期化することも想定され、切れ目のない支援について打合せを行い、情報交換を実施。



1月31日（火） 10時00分

災害対策委員会
開催

石川県老施協と災害対策委員会へ参加。現在の全国老施協DWATの派遣状況及び行政通知含めて情報共有。

引き続き全国老施協DWATを継続して募集する他、義援金含む災害支援について方向性の確認。被災地への訪問含めて引き続き支援強化。



正確な情報把握に困難が続いた。

被災施設の利用者を受入れているが、自法人の職員だけでは人手が足りず、全国老施協DWATの支援を受けながら何とか運営している状況。

地震発生直後は、地元石川県老施協でも県内の情報が全く分からなかった。ニュースなどを確認しながら手探りの状況が続いたが、点と点が繋がったのは発生後約1週間程経過してからだった。

被災者が孤立することなく、安心してこれからも生活していけるように、施設側としても最大限の努力を継続的にしていきたいが、行政等の情報共有がまだまだ不足している為、緻密な打合せは必要になってくる。

現在、チーム単位での派遣は本当に助かっている。長期化を見込みながら今後も最大限受入れ体制を整えていきたい。



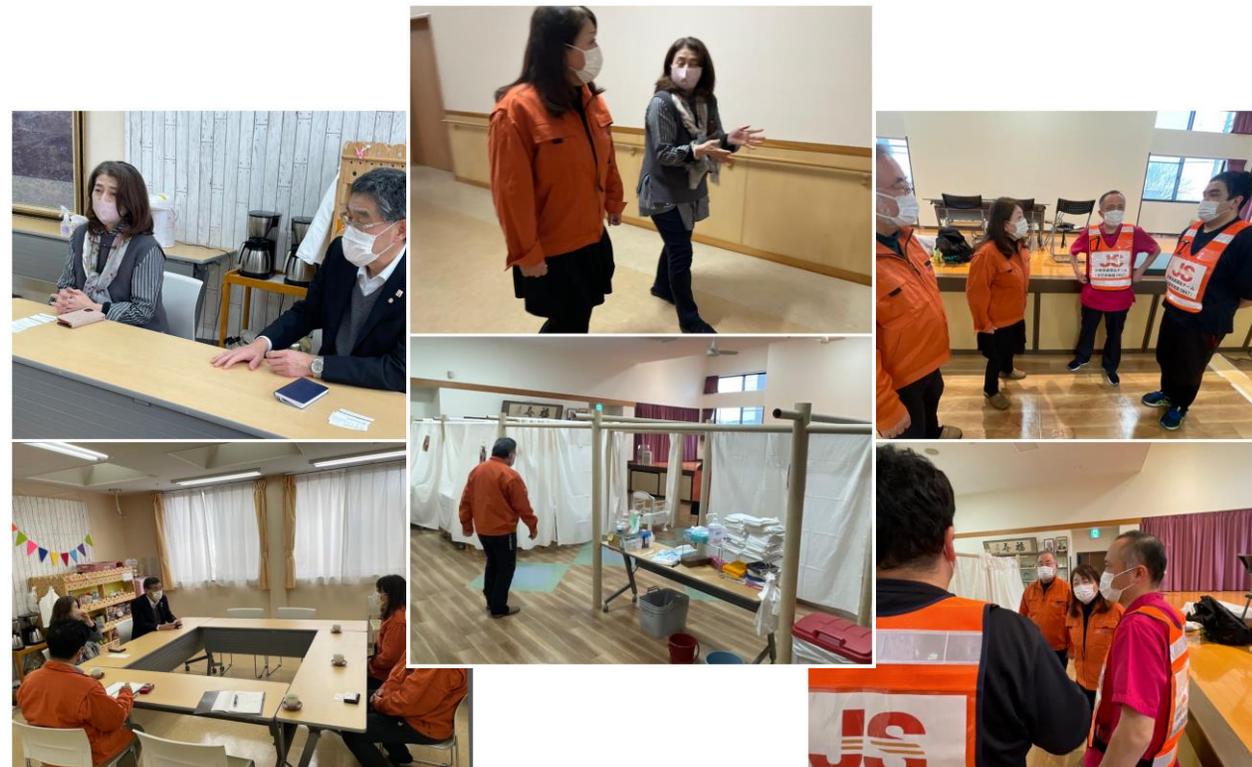
南理事長



端施設長



意見交換



施設名

特別養護老人ホーム福寿園

所在地

石川県白山市山島台4丁目100番地

施設状況

被災者の受入れ施設として運営している。

災害派遣福祉チームに任命され、大変光栄に思う。
法人、県を代表しての被災地支援に全力を挙げたい。

